





実際に町を巡りナゾを解きながら  
ストーリーを楽しむツアー！！

時	代	恋
人		
	愛	期
理		間

眼鏡がかかっていないエリアの文字を上から読め

商店街にある店のガラス

**町にあるものをナゾに！！**

リアル謎解きゲーム  
安芸高田市  
ミステリーツアー  
毛利元就と巡る安芸高田市の歴史と志の行方

本校生徒が創ったキャラクター

吉田町の歴史

吉田の町は、かつて「吉田千軒・可部千軒」と異国に歌われたほど、商業で栄えた町でした。本通りや新町通りは特に栄え、広島城下と

山陰地方を結ぶ石路(重要な交通路)の宿場町として多くの商家が立ち並んでいました。

新町通りでは、最期から三味線の音、夕方には行き交う遊覧さんたちの下駄の音が響き響いていたそうです。長さ300mほどの道筋には、料亭、購買屋が並び、両方が賑わいを醸らし出していました。

新町通りの象徴だったのが「常盤屋」です。歌舞伎座のように建てた作りで、収容人数はなんと1100人。広島市の「寿屋」、高の「春日屋」に並び、県下有数の大劇場でした。

昭和47年6月には、作家の司馬遼太郎さんが取材で吉田に訪れ、「吉田の道」(国産をゆく vol.2)を執筆されました。「彼も宮崎の如くよかつた。毛利氏以来の町割りどおりの道筋であろうと思われる道に面し、半ば土蔵造りの外構を、玄関に入って香殿場に立つと、黒いいろは、という墨の色もさかでない軒下りの板看板がほり出すようにして内壁に立てかけられていた。」(『吉田の道・町役場』司馬遼太郎さんが宿泊して「いろは家旅館」は現在も営業されています。

郡山城の城下町として発展し、中国地方有数の町であったこの吉田を、私たちが守っていきたいと思います。

(吉田高校卒業生の課題研究レポートより)

① 町制55周年記念行事(昭和27年3月)  
(本通り：現在の大半商店街の様子)

↑吉田町住居 田丸道賢さん撮影  
(毛利元就没後400年祭 昭和46年7月)

◎昭和6年頃の「常盤屋」

◎昭和12年頃の「常盤屋」公演の様子

司馬遼太郎さんの文章の石碑(歴史民俗博物館前) 本通りと新町通りの位置

◎大正一昭和初期の清神社 昭和12(1937)年に、石垣が現在の玉垣(亀甲様)へと再建された

写真①～⑤：安芸高田歴史民俗博物館提供

キャラクターやストーリーは一から手作りし、地域の歴史も学べる内容にした。

◆会議の様子、町を歩いてナゾを探している様子



◆「安芸高田市ミステリーツアー」当日の様子 36組74名が参加してくださいました。



地元の企業であるファブラボ広島安芸高田さんが、本事業を盛り上げるために、商品「循環ガチャ」を貸してくださいました。お金でなくペットボトルキャップで回せるガチャガチャに、子どもたちだけでなく大人も大盛り上がり！カプセルの中身はお菓子。参加者全員に、ゴール後に遊んでいただいた。

## 5 生徒の感想・変容

- (1)「私たちのアイデアは地元の方に受け入れられるのだろうか」と不安だったが、地元の方がたくさん応援の言葉をくださり、受け入れてくれていると知り、嬉しかった。
- (2)これまでは、授業などで“アイデアを出すだけ”であったが、今回実現するところまで自分たちでやり切れて、“実現する力”が身に付いた。
- (3)事業を行う上で仲間同士の信頼関係も重要だが、たくさんの方の支えがあってこそ成功だと実感した。たくさんの方の御協力に感謝したい。

## 6 アンケート結果

参加者の満足度：100%(アンケート回答者全員が「とても楽しかった」と回答)

◆安芸高田市は魅力的だと思いますか？

「とてもそう思う」：50%「どちらかというそう思う」：50%

◆安芸高田市をまた訪れたいと思いますか？

「とてもそう思う」：70%「どちらかというそう思う」：30%

<感想抜粋>

- ・イヤー面白かった最高でした。吉田の魅力を存分に引き出してきて嬉しかった。
- ・最後の問題が難しかったですが、他の謎解きをされた地域の方と一緒に悩んで正解した時はとても嬉しかったし楽しかったです。吉高生がこんな楽しい企画をしてきて、嬉しいです。これからも街を盛り上げる企画を楽しみにしています。
- ・とても面白かったです。謎解きの問題がとても工夫されており、楽しかったです。問題がよく練られているなと思いました。
- ・親子で楽しめるとても良く企画されたイベントでした。子供と参加できる点が良かったです。土地柄を活かした山登りや街歩きを取り入れられており、頭と身体を使って楽しむことが出来ました。景品も大きなモチベーションになりました。
- ・吉田のまちのことが分かり、よかったです。高校生が優しかった。
- ・難しい問題もありましたが、家族皆で楽しめるイベントで、大満足でした。また次回も参加したいです。
- ・たくさん歩いてくたくたになりましたが、謎解きに加えて知らない土地のことを知ることができたのも楽しかったです。ありがとうございました。
- ・展望台からの景色や清神社の杉の木を見られたのも良い思い出になりました。土師ダムと湯治村だけでない安芸高田市の魅力を知ることができて良かったです。

7 課題と改善点

- (1) 行程：広範囲に渡り歩く内容であり、小さな子どもを連れた家族にとっては、ややハードな行程であった。今後行う際は、ルートをよく考えたい。
- (2) 安心面：車が行き交う狭い道を歩く箇所があり、注意を促す人を配置した方が良い。

8 補助金の使途

ナゾ制作費、ミステリー冊子やチラシの制作費、景品や消耗品にかかる費用、甲冑レンタル費など

9 今後の展望

ミステリーツアー当日に余った冊子を道の駅やセレクトショップなどに設置し、自由に遊んでいただけるようにした。

今後も地域と連携をし、地域を活性化する取組を企画したい。さらには、校内の探究学習の活性化にもつなげていきたい。



安芸高田市歴史民俗博物館に設置していただいた